

国際理解出前講座

実施日：2024年9月7日（土）10：30～12：00

実施場所：菅生公民館

講師：赤錆千春さん

テーマ：エクアドル ～異文化からのメッセージ～

参加者：23名

講座内容：

講師の赤錆さんは、姫路市内の特別支援学校での勤務経験を生かし、JICA 海外協力隊のボランティアとしてエクアドルの特別支援学校で約2年間教育指導をしておられました。

初めにエクアドルの基本情報を教えていただきました。首都はキト、標高2850メートルに位置しており、日本でいう富士山の7合目にあたるそうです。エクアドル全体で人口は1840万人、公用語はスペイン語、通貨は米ドル。国旗は3色からなり、太陽を表す黄色、空を表す青色、独立を勝ち取るために流された血を意味する赤色で構成されているそうです。国民はとにかくお祭り、踊りが大好きだそうで、実際にエクアドルの方たちが楽しそうに踊っているビデオを見せていただきました。

次にエクアドルの国民性を教えていただきました。家族第一主義、自分が大切、人と比べない、人との距離感が近いなどの特徴を挙げ、皆で日本人と違いを考えてみました。

最後に、赤錆さんは外国にルーツを持つ人々と共生していくことの大切さを訴えられました。外国人を排斥したり、同化を求めるのではなく、私たちが考え方を換え、多様な生き方や暮らし方を尊重し受け入れることが共生です。赤錆さんは現在スクールカウンセラーとして活躍しておられますが、多文化共生の啓発活動をライフワークとして今後も活動されるそうです。外国人、日本人という垣根を超え、ともに手を取り合って未来を創造していく、そのような社会が実現することを切に願います。

